



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月28日

上場会社名 南海辰村建設株式会社
コード番号 1850 URL <https://www.nantatsu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 浦地 紅陽

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 堀 正輝

TEL 06(6644)7805

四半期報告書提出予定日 2022年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	19,167	8.4	1,028	52.6	1,027	58.7	817	54.2
2022年3月期第2四半期	17,674	12.4	674	58.7	647	53.2	530	173.9

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 804百万円 (56.0%) 2022年3月期第2四半期 515百万円 (160.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	28.37	
2022年3月期第2四半期	18.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	29,244	13,388	45.8
2022年3月期	32,445	12,670	39.1

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 13,388百万円 2022年3月期 12,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				3.00	3.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,800	25.8	2,130	10.3	2,080	11.3	1,730	32.0	60.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	28,835,730 株	2022年3月期	28,835,730 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	8,023 株	2022年3月期	7,923 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	28,827,793 株	2022年3月期2Q	28,827,980 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7
(追加情報)	8
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から緩やかに持ち直しの動きがみられたものの、長期化するロシア・ウクライナ情勢や世界的な物価の高騰と金融引締めに伴う影響等により、景気の先行きは不透明さが増しております。

この間、建設業界におきましては、国土強靱化対策に伴い公共投資は底堅く推移しておりますが、建設資材価格の上昇や受注競争の激化が顕在化しており、今後も経営環境への影響に十分注視する必要があります。

このような状況の下、当社グループでは「3カ年経営計画」の基本方針にもとづき、主要目標数値の達成に向けて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ8.4%増の191億67百万円、営業利益は前年同四半期に比べ52.6%増の10億28百万円、経常利益は前年同四半期に比べ58.7%増の10億27百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ54.2%増の8億17百万円となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書における営業利益と対応しております。

(建設事業)

売上高は前期繰越工事高が増加したこと等により、前年同四半期に比べ8.5%増の190億36百万円となり、セグメント利益は増収及び一部工事の採算性向上に伴う利益率改善等により、前年同四半期に比べ53.4%増の10億18百万円となりました。

(不動産事業)

不動産賃貸収入が減少したこと等により、売上高は前年同四半期に比べ1.9%減の1億37百万円、セグメント利益は前年同四半期に比べ、7.6%減の26百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の資産合計は、現金預金及び有価証券が増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産や電子記録債権が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ32億円減の292億44百万円となりました。

負債合計は、電子記録債務及び借入金が増加したこと等により、前連結会計年度に比べ39億18百万円減の158億55百万円となりました。

純資産合計は、配当金の支払により利益剰余金が86百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を8億17百万円計上したこと等により、前連結会計年度に比べ7億17百万円増の133億88百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月27日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想につきましては、変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,919	5,427
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	19,088	16,088
電子記録債権	1,530	46
有価証券	499	999
販売用不動産	1	1
未成工事支出金	615	660
材料貯蔵品	60	53
その他	418	708
貸倒引当金	△49	△50
流動資産合計	27,085	23,935
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	1,197	1,178
土地	2,009	2,009
その他（純額）	49	42
有形固定資産合計	3,257	3,231
無形固定資産	117	115
投資その他の資産		
破産更生債権等	70	70
退職給付に係る資産	924	924
繰延税金資産	630	610
その他	437	434
貸倒引当金	△78	△78
投資その他の資産合計	1,985	1,961
固定資産合計	5,360	5,308
資産合計	32,445	29,244

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	8,334	7,531
電子記録債務	3,806	2,921
短期借入金	3,834	2,184
未払法人税等	11	222
契約負債	693	666
完成工事補償引当金	90	94
工事損失引当金	7	10
賞与引当金	253	252
その他	851	187
流動負債合計	17,882	14,072
固定負債		
長期借入金	613	471
退職給付に係る負債	1,158	1,195
その他	119	116
固定負債合計	1,892	1,783
負債合計	19,774	15,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	1,703	1,703
利益剰余金	8,729	9,461
自己株式	△3	△3
株主資本合計	12,429	13,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	19
退職給付に係る調整累計額	221	208
その他の包括利益累計額合計	241	227
純資産合計	12,670	13,388
負債純資産合計	32,445	29,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	17,674	19,167
売上原価	15,946	17,037
売上総利益	1,728	2,130
販売費及び一般管理費	1,054	1,101
営業利益	674	1,028
営業外収益		
受取利息	1	0
有価証券利息	-	0
受取配当金	3	4
受取地代家賃	2	2
その他	5	4
営業外収益合計	13	11
営業外費用		
支払利息	10	8
その他	29	3
営業外費用合計	39	12
経常利益	647	1,027
税金等調整前四半期純利益	647	1,027
法人税、住民税及び事業税	102	183
法人税等調整額	14	26
法人税等合計	117	209
四半期純利益	530	817
親会社株主に帰属する四半期純利益	530	817

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	530	817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	0
退職給付に係る調整額	△12	△13
その他の包括利益合計	△14	△13
四半期包括利益	515	804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515	804
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,537	137	17,674	—	17,674
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	2	6	△6	—
計	17,541	140	17,681	△6	17,674
セグメント利益	663	28	691	△17	674

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,032	135	19,167	—	19,167
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	2	5	△5	—
計	19,036	137	19,173	△5	19,167
セグメント利益	1,018	26	1,044	△15	1,028

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

2022年3月期決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて重要な変更はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 部門別売上高明細表

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		比較増減(△)		
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)	
建設事業	建築	13,127	74.3	13,743	71.7	615	4.7
	土木	3,744	21.2	4,829	25.2	1,085	29.0
	電気	664	3.7	459	2.4	△205	△30.9
計	17,537	99.2	19,032	99.3	1,495	8.5	
不動産事業	137	0.8	135	0.7	△2	△1.9	
合計	17,674	100	19,167	100	1,492	8.4	

(2) 受注状況

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		比較増減(△)		
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)	
受注工事高	建築	13,132	73.0	19,026	78.1	5,893	44.9
	土木	3,869	21.5	4,415	18.1	545	14.1
	電気	980	5.5	933	3.8	△46	△4.8
合計	17,982	100	24,375	100	6,392	35.5	
繰越工事高	建築	32,970	79.2	46,800	87.8	13,830	41.9
	土木	7,847	18.9	5,389	10.1	△2,457	△31.3
	電気	803	1.9	1,134	2.1	330	41.2
合計	41,620	100	53,325	100	11,704	28.1	

(注) 1 当社グループでは建設事業以外は受注生産を行っておりません。

2 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

以上